



南条つ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和5年9月14日発

第27号



○ 稲刈り体験 (5年生)

9月8日(金)、南条小、今庄小、河野小の3校の5年生が、リトリートたぐらの近くにある田で、稲刈りを行いました。(湯尾小は、学校近くの田で独自で実施しています。)

ほとんどの児童にとって初めての体験だったと思いますが、「楽しかった」と言って帰ってきました。農業離れと機械化が進み、こうした体験をすることがなくなっているだけに、短い時間ではありましたが、とても貴重な体験になったと思います。



昔の米づくり(昭和30~40年代)



それぞれ何をしているところか、分かりますか？

私の小さい頃、お風呂の浴槽に種籾を漬けて、芽出しを行っていた記憶があります。その間はお風呂に入れませんでした。また、より味わい深い、おいしいお米にするために、はさかけ(はさがけ)と言って、刈り取った稲を束ねて、「はさ」と呼ばれる棚にかけて天日干しをし、自然乾燥させるということも行っていました。昔の人は、何をするにも大変だったと思います。



○ 社会科見学 (3年生)

9月13日(水)、3年生が、社会科の学習のために町内の農家を訪ね、ビニールハウスで行われているキュウリ栽培の様子を見学したり、インタビューしたりしました。

最初に、ビニールハウスの中に入り、キュウリが育っている様子を見学しました。たくさんのキュウリがずっと並んでいて、まるで探検しているような気分になったのではないかと思います。(茎の上の方をわざと切っており、キュウリの背丈はそれほど高くありませんでした。)見学後、子どもたちからの質問に、丁寧に答えてもらいました。暑さを避けて、朝夕3時間ずつ作業をしており、毎日450本ほど収穫しているそうです。また、1日に4回、自動的に水やりをするようになっているそうです。

キュウリ栽培をするときにどんな工夫をしているか、どんな苦労や大変さがあるのかについて分かったのではないかと思います。また、苦労や大変さだけでなく、喜びや楽しみがあることも分かったようです。実際に見たり聞いたりして、しっかりと学ぶことができました。



○ 読み聞かせ (2・5・6年生)

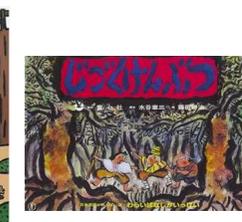
9月14日(木)、2・5・6年生を対象に、読み聞かせが行われました。子どもたちは、みんな楽しみながら、一生懸命に話を聴いていました。次回は、9月21日(木)、1・3年生、なかよし・ひまわり学級で行われます。



2-1



2-2



5-1



5-2



6-1



6-2

先日、読破賞(5000ページ読んだ)の表彰のことを話題にしましたが、今、一番本を読んでいる児童は、すでに2万ページを超えているそうです。大変すばらしいです。小学生のうちに、できるだけ数多くの作品にふれてほしいです。